

前回からの要望・質疑内容

資料作成要望について

1. CASE2 で受水単価を（削除）円/m³とした場合の財政シミュレーション結果について

質疑内容について

質問1 CASE3・CASE4では統合に向けた配管整備（老朽管更新）として円が計上されているが、CASE1とCASE2では計上されていない。配管更新を（削除）円/年で行うと第4回委員会で説明していたが、CASE1・CASE2で計上された整備費以外に（削除）円/年が必要ということですか。

回答1 CASE3・CASE4での配管整備費約（削除）円とは、経営統合までに必要な自治体Aの配管更新状態と同等になるための整備費です。そのかわり、ケース1・ケース2では毎年（削除）円の配管整備費を計上しています。この費用は、40年後の次回浄水場更新時期に自治体Aと同等な配水管更新状態になる費用です。これにより、40年後に統合の案件が再浮上しても、配水管は自治体Aと同等レベルになっています。

質問2 答申ではこれまで公表していない事業費や水道料金は公表されると思いますが、これまでの資料は金額等を削除せずに公表するのですか。

回答2 市長への答申書には、事業費・水道料金・想定受水単価等の金額及び自治体名など、これまで削除の上で公表していたものすべてを削除せず掲載します。しかし、インターネット等で公表する答申書（公表版）では、これまでと同様に金額・自治体名等を削除し公表します。その理由は、今後広域連携に向けての他自治体との折衝が予定されるなかで、具体的な想定受水金額や財政シミュレーション等の開示は、今後の折衝が不利になる可能性があるためです。

答申（案）記載内容について

1. 「判断材料を分かりやすい形で市民に提供する」という趣旨の文言をいれていただきたい。
2. 「検討の前提」で「住民に身近なサービスは最も身近な機関が行うことが望ましい」とあるが、あくまで持続可能な経営の継続が前提なため、「持続可能な経営が継続できるのであれば、住民に身近なサービスは最も身近な機関が行うことが望ましい」という表現が適切ではないか。
3. 「水道料金の値上げ」と記載があるが、適切な受益者負担に基づく「水道料金の改定」という表現で統一した方が良いのではないか。
4. 「考察」で「単独運営は可能であると考えられる」とあるが、検討委員会の議論の経過からすると「短期的には単独運営は可能である」という表現が適切ではないか。
5. 「考察」で単独経営前提案に「事前の料金値上げの調整を行いより平準化することが望ましい」とあるが、要点併記案にも記載した方が良いのではないか。
6. 「考察」の「留意点」に「柔軟に方針転換をすべきである」とあるが、自治体Aとの協議結果によっては、今回と同じような検討委員会を設置した方が良いことも考えられ「必要に応じて検討委員会を設置し方針決定をすべきである」としてはどうか。
7. 「まとめ」の後段に「適切な水道料金の改定を適時行うことにより」とあるが、検討委員会で意見があったように「経営戦略等に基づき、適切な水道料金の改定を適時行うことにより」としてはどうか。
8. 単独経営前提案及び要点併記案ともに「事業統合」とあるが、検討委員会での議論を踏まえると、「経営統合」後に「事業統合」を行うことを明確にして使い分けた方が良いのではないか。
9. 広域連携を目指す場合のデメリットで「水道料金以外においても住民等に影響が大きい」とあるが、具体的にどのような点で住民等に影響が大きい（支障が出るのか）のか記述した方が良いのではないか。
10. 運営方針について単独経営、広域連携、事業統合等の方針決定の期限が示されていない。可能であれば方針決定のデッドラインを明記すべきではないか。

11. CASE3において、受水単価は（削除）円から（削除）円へと値上げしてシミュレーションしていますが、供給単価を（削除）円で据え置くことは整合が取れないのではないのでしょうか。供給単価も値上げするシミュレーションを行えば、料金差額で償還する期間は8年から延びるのではないか。
12. 「はじめに」で、「自治体 A からの受水の可否などの不明瞭な点がある中での……」とあるが、「不明瞭」は適切ではないと考えます。「広域連携の条件等を仮定した中での……」としてはどうか。
13. 各 CASE のメリット・デメリットの中で国庫補助等について記載があるが検討した CASE では単独、広域連携ともに現在の補助要件には合致しないため、この補助金等の記載は削除した方がよいと思われます。そして、「考察」の中で、「広域連携の形態によっては国交付金等の財政支援を活用することが可能である。最大限活用できるような広域連携を検討すべきである。」と加えてはどうか。
14. 「考察」で、「今後の水道料金値上げは他事業体と比較して著しく高額であるとは考えにくいいため、単独運営は可能であると考えられる。」とあるが、著しく高額ではないといえるのか疑問があります。また、単独運営の可否が水道料金の高低のみで判断される点も同様です。
15. 「運営状況の悪化が明白」とされているが、どういった原因、理由で悪化すると記載してはどうか。
16. 「広域連携の実現には長期にわたる取組が必要なため、できるだけ早期に検討をはじめめる必要がある」点も記載してはどうか。
17. 単独経営の場合で「職員の確保」や「技術の継承」等も課題であるため、その点も記載する必要があるのではないか。
18. 単独経営を目指す場合のデメリットに、今後小規模水道事業体として課題解決が難しい理由をより記載してはどうか。
19. 広域連携を目指す場合のメリット・デメリットは多くの論点が討論されたと思いますので、追記してはどうか。